

山口県立萩美術館・浦上記念館

H A G I |

HAGI URAGAMI MUSEUM MAGAZINE

萩

106

WINTER ISSUE

2023

現在形の陶芸

萩大賞展 VI

THE HAGI TAISHOU (GRAND PRIX) OF
CONTEMPORARY CERAMICS VI



現在形の陶芸 萩大賞展 VI

今回で6回目となる陶芸の公募展「現在形の陶芸 萩大賞展VI」では日本全国から103名103件の作品の応募があり、2次にわたる厳正な審査の結果、72名72件の作品が入選しました。
当館では入選した72件の作品を、2023年1月2日(月)～2月26日(日)まで展示します。



萩大賞



こうはくせん しゃよう
紅白鮮 斜陽 -2209-

ますはらか おり
増原嘉央理



柏原美術館賞



さいでいとうこうぼち
彩泥透光鉢「花びらだんす」

うさみせいじ
宇佐美成治

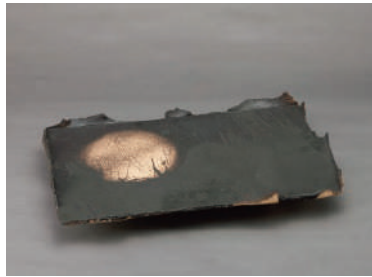


優秀賞



きびじはち
銹地鉢

おくがわまいこ
奥川真以子



てつゆうながざら
鉄釉長皿

つかだけいじ
塚田啓司



せいじつば すいてんほうふつ
青瓷壺「水天彷彿」

つがねひとむ
津金日人夢



審査員特別賞



むーん ぼびりおん
Moon Pavilion

たかはしともこ
高橋朋子



はくじげ物てわん
白磁削手盤「あふれるつや」

たんば
丹羽シゲユキ



しのちやわん
志野茶碗

はやしゆか
林友加



佳作



はいゆうさいほち
灰釉彩鉢

いちのしゅうまく
市野秀作



おりべみずさし
織部水指

かなもとたくや
金本早也



でいさいぎょしもんくみき
泥彩魚子文組器

かわいさおり
川井佐織



なみもんとうぼ
波紋陶匣

しのほらひら
篠原希



もえぎせいじゆうばち
萌葱青磁釉鉢

たかもりせいじ
高森誠司



はぎりゅうはくゆうばち
萩流白釉鉢

たはらたかお
田原崇雄



はぎちやわん
萩茶盃

たまわらしんいち
玉村信一



ひとりしずか
一人静

ちやうらか
張浦華



せんてん
旋転

はたのあや
波多野亜耶



びぜんみずさし
備前水指

まつもとよりあき
松本頼明



そうぎやう
蒼穹

みやもとかりん
宮本果林



からつちやわん
唐津茶盃

やすながらいざん
安永頼山



せきそうさいき
積奏彩幾何文鉢

わたなべくにお
渡辺国夫

現在の形の陶芸

萩大賞展 VI

第21回国民文化祭・やまぐち2006において、
過去最多の応募作品が寄せられた陶芸展を継承し、
萩焼400年の歴史を有する
本県の陶芸分野の更なる振興を目的に、
現在活動する陶芸家の作品公募展
「現在の形の陶芸萩大賞展VI」を開催します。

2023年
1月2日[月]～2月26日[日]

休館日 / 1月10日(火)、1月16日(月)、1月23日(月)、1月30日(月)、
2月13日(月)、2月20日(月)

開館時間 / 9:00～17:00(入場は16:30まで)

観覧料 / 一般 300(240)円、学生 200(160)円

メンバーズクラブ、キャンパスメンバーズ、70歳以上・
18歳以下の方は無料です。

※()内は20名以上の団体料金。

※18歳以下の方、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援
学校の生徒は無料。

※身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳
の提示者とその介護者(1名)は無料。

主催 / 現在の形の陶芸 萩大賞展VI実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市教育委員会、萩市文化協会、萩陶芸家協会)

助成 / カシワバラ・コーポレーション

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
臨時休館やイベントを中止・変更する場合がございます。
詳しくは当館ホームページをご確認ください。



当館
ホームページ

表彰式・講評会

【日時】1月7日(土)

【表彰式】15:00～15:30

【講評会】15:30～16:30

【会場】本館 講座室(表彰式)
陶芸館展示室(講評会)

アーティストトーク (出品作家による作品解説)

【日時】1月8日(日)、
2月12日(日)
いずれも11:00～

要観覧券

要事前
申込

【会場】陶芸館展示室 ※いずれも先着20名

お申込みは
電話またはWEBで

電話 0838-24-2400にて、①～④をお知らせ
ください。
①参加希望日 ②参加希望者全員の氏名
③年齢 ④代表者の日中のご連絡先

WEB 当館ホームページをご覧ください。

展示室1〈浮世絵〉

すもうえ
相撲絵

【会期】 1月2日(月) — 1月29日(日)

江戸時代、相撲は歌舞伎とともに人気の高い娯楽でした。したがって浮世絵版画の初期から画題とされ、錦絵の時代に制作数が増えたので、ジャンルとして定着したといえます。勝川派、菊川派、歌川派などの絵師によって、力士の化粧回し姿、土俵入り、取組、支度部屋や場所風景などを描いた作品が残されています。

今回は相撲の歴史をたどりながら、相撲にちなんだ伝説上の豪傑や子供力士、萩藩お抱え力士を描いた作品を紹介します。



長州 越ヶ浜岩五郎
勝川春亭
文政8年～天保3年
(1825～1832)

展示室1〈浮世絵〉

つきおかよしとし ふうぞくさんじゅう に そう
月岡芳年 風俗三十二相

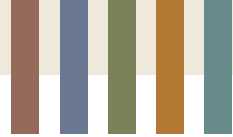
【会期】 1月31日(火) — 2月26日(日)

月岡芳年(1839～1892)は、明治時代に活躍した浮世絵師です。「風俗三十二相」は明治21年(1888)に刊行された32枚のシリーズで、芳年が描いた美人画の代表作として知られています。

三十二相とは、私が備えている32の優れた身体的特徴をさしますが、本シリーズでは寛政期から明治までの各時代の年齢や立場の異なる様々な女性風俗を取り上げ、さらに観相学にことよせて、女性のさまざまな表情を描き分ける趣向となっています。



風俗三十二相 つめたさう 文化年間めかけの風俗
明治21年(1888)



展示室1〈浮世絵〉

つきおかよしとし しんけいさんじゅうろっかいせん
月岡芳年 新形三十六怪撰

【会期】3月7日(火) — 4月9日(日)

「新形三十六怪撰」は、月岡芳年(1839~1892)の最晩年の代表作です。伝説や歴史物語、謡曲などをもとに描かれた古今の妖怪や幽霊たちは、繊細な描写と豊かな色彩により、妖気を醸し出しています。

今回の展示では、36図に目録を加えたシリーズ全作品を紹介します。



月岡芳年
「新形三十六怪撰
茂林寺の文福茶釜」
大判錦絵
明治25年(1892)

展示室2〈東洋陶磁〉

か れ い い ろ え じ き
華麗なる色絵磁器

【会期】2022年11月19日(土) — 4月9日(日)

色絵は五彩、赤絵とも呼ばれ、その名前が示す通り赤、緑、黄などの顔料を用いて、色鮮やかな文様が描かれたやきものです。素地が陶器の場合は色絵陶器、素地が磁器の場合は色絵磁器と呼ばれ、いずれも古い歴史を有します。今回ご紹介する色絵磁器は、元時代に中国江西省の景德鎮窯で14世紀ごろに生まれました。

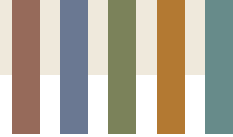
色絵磁器は同時代に生まれた青花磁器と併せて、陶磁器の装飾における革命的な技法でしたが、素地となる磁器(白磁)の焼締まる温度では、顔料が定着せず揮発してしまうため、色絵磁器を作るには低火度で余計にもう1回焼成する必要があり、必然的にやきものにかかるコストが増えることになりました。

しかし、その鮮やかさから色絵磁器は発展し続け、特に皇帝への献上品が焼かれた景德鎮官窯では、わずかな筆致の乱れも許されない優品が作られ、明時代の万曆赤絵はその頂点のひとつと評されます。一方、景德鎮民窯で作られた南京赤絵や、福建省の漳州窯で作られた呉州赤絵などは、奔放な絵付けが当時の日本人にも好まれ、多く輸出されました。

本展示では、陶磁史を彩る色鮮やかな色絵磁器の逸品の数々をご紹介します。



五彩龍文壺 中国・景德鎮窯 明時代
万曆在銘(1573~1620年)



展示室7〈陶芸〉

み わ り ゆ う き し ゚ ょ う と う せ か い
三輪龍氣生 陶の世界

【会期】3月7日(火) — 9月3日(日)

三輪龍氣生(十二代休雪。本名・龍作。昭和15年(1940)辰年生まれ)は、萩の伝統窯三輪窯の十一代休雪(壽雪)の長男として生まれ、歴史ある萩焼の三輪家の伝統を踏まえながらも、これまで「愛(エロス)」と「死(タナトス)」をテーマに独自の具象造形表現により自己の内的世界をかたちにしてきた陶芸家です。

今展では、作者の制作意識の中で常に内在している「生成と崩壊」のテーマを、全身で土に立ち向かうことで表現した巨大な「続・卑弥呼の書」や、作家自身の自画像、化身ともいえる「龍人伝説」シリーズの作品を展示し、空間的にも時間的にも壮大なスケールで展開する三輪龍氣生の陶の造形世界を紹介します。



三輪龍氣生《続・卑弥呼の書 No.9》(部分) 1992年 撮影:田中学而

展示室8〈陶芸〉

ち ゃ と う は ぎ
茶陶 — 萩

【会期】3月7日(火) — 5月7日(日)

萩焼は、萩藩主毛利氏が17世紀初頭に萩藩の御用窯として開窯して以降400年余り続く長い伝統を持ち、とりわけ優れた茶陶を生み出す窯業地としてこれまで多く語られてきました。伝世する萩焼の多くは茶の湯の道具であり、特に御用窯で作られた茶碗は、開窯当初から佗数寄の美意識により見出された高麗茶碗の造形性を濃厚に反映したものでした。しかしそれらは単なる写し(模倣、まね)ではなく、高麗茶碗がもつ様々な造形要素を自在にアレンジし、さらに古田織部好みの剽げた歪みの美意識を取り入れるなど、萩焼独自の造形性を常に志向するものでした。

今展では、そうした独自の品格を有する古萩(近

世の萩焼)から近現代の萩焼の作家(人間国宝を含む)の作品まで、伝統を踏まえながらも常に革新的ともいえる独創的な造形表現を追い求めてきた萩焼の茶陶を紹介します。



伝 初世坂高麗左衛門《萩茶碗 銘 李華》江戸時代前期 17世紀 個人蔵

SCHEDULE 令和4年度(1月~3月)

■ 休館日 ★ イベント ● ギャラリー・ツアー ◆ ギャラリー・トーク ▲ アーティスト・トーク

1

JAN

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
展示室1	日	月★	火	水	木	金	土★	日▲	月	火	水	木	金	土★◆	日◆	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
展示室2	普通展示(浮世絵): 相撲絵(1/2~1/29)																														
展示室3~6	普通展示(東洋陶磁): 華麗なる色絵磁器(~4/9)																														
展示室7	現在形の陶芸 萩大賞展VI(1/2~2/26)																														
展示室8	現在形の陶芸 萩大賞展VI(1/2~2/26)																														
特選鑑賞室	歌川広重「東海道五十三次之内 亀山 雪晴」(1/2~1/31)																														
茶室	イワタリ GLASS×鉄×茶室(~3/26)																														

※普通展示(浮世絵):月岡芳年 風俗三十二相(1/31~2/26)

2

FEB

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
展示室1	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土◆	日▲	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
展示室2	普通展示(浮世絵): 月岡芳年 風俗三十二相(~2/26)																														
展示室3~6	普通展示(東洋陶磁): 華麗なる色絵磁器(~4/9)																														
展示室7	現在形の陶芸 萩大賞展VI(~2/26)																														
展示室8	現在形の陶芸 萩大賞展VI(~2/26)																														
特選鑑賞室	勝川春亭「相洲江之嶋ノ図」(2/1~2/26)																														
茶室	イワタリ GLASS×鉄×茶室(~3/26)																														

3

MAR

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
展示室1	水	木	金	土	日	月	火	水	木★	金★	土★	日★	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土◆	日◆	月	火	水	木	金
展示室2	普通展示(浮世絵): 月岡芳年 新形三十六怪撰(3/7~4/9)																														
展示室3~6	普通展示(東洋陶磁): 華麗なる色絵磁器(~4/9)																														
展示室7	普通展示(陶芸): 三輪龍氣生 陶の世界(3/7~9/3)																														
展示室8	普通展示(陶芸): 茶陶一萩(3/7~5/7)																														
特選鑑賞室	歌川広重「京都名所之内 あらし山満花」(3/7~3/31)																														
茶室	イワタリ GLASS×鉄×茶室(~3/26)																														

★ イベント

お正月は美術館へ行こう!

①和太鼓演奏

【日時】1月2日[月・休] 10:30~11:00

【出演】大板山たたら太鼓同好会

【会場】玄関前広場

②令和5年の新成人は展覧会の入場無料

【日時】1月2日[月・休]、1月9日[月・祝]

③美術館でお正月をみつけよう

【日時】1月2日[月・休]~1月15日[日]

【内容】館内に置かれた干支や縁起物もつキーワードを集めたら各日先着100名にグッズをプレゼント

④アート年賀状2023の作品展示

【日時】1月2日[月・休]~1月29日[日] ※募集は12月22日[木]まで

⑤呈茶席

【日時】1月7日[土] 10:30~15:00

【会場】交流スペース 【協力】茶道裏千家淡交会萩青年部

【料金】300円 ※限定50碗 当日受付先着順

⑥新春萩美寄席

【日時】1月14日[土] 11:00~12:00

【会場】講座室 【出演】桂 竹千代

【定員】70名(要事前予約、申込先着順、要当日の展覧会観覧券)

※12月17日[土]WEB9:00、電話10:00から申込受付開始

令和4年度 Innovate MUSEUM 事業 春の江戸文化ウィーク

【日時】3月9日[木]~3月12日[日](予定)

【内容】江戸文化を楽しく学べるイベントを開催します。

※詳細は当館ホームページにてご案内します。

▲ アーティスト・トーク

〈出品作家による作品解説〉

「現在形の陶芸 萩大賞展VI」

【日時】1月8日[日]、2月12日[日]

11:00~12:00

【定員】各日20名(要事前予約・要観覧券)

◆ ギャラリー・トーク

〈担当学芸員による展示作品解説〉

1月14日のみ12:00~、他は11:00~

(いずれも30分程度)

◆ 1月14日[土]相撲絵

◆ 2月11日[土]月岡芳年 風俗三十二相

◆ 3月11日[土]三輪龍氣生 陶の世界

◆ 3月25日[土]月岡芳年 新形三十六怪撰

【定員】各日10名(要事前予約・要観覧券)

事前予約について

電話またはWEBにてお申し込みください。

【電話の場合】

TEL:0838-24-2400にて、①~④をお知らせください。

①参加するイベント名 ②参加者の氏名 ③年齢

④代表者の日中の連絡先電話番号

【WEBの場合】

右の2次元コードから、または、

美術館ホームページをご覧ください。

※アーティストトーク、ギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。

※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

臨時的休館やイベントを中止・変更する場合があります。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

URL:<https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

【お問い合わせ】TEL 0838-24-2400



交通 アクセス

【新山口駅から】

■直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で

萩・明倫センター下車、徒歩約5分

■防長バス(約90分)で

萩バスセンター下車、徒歩約12分

【山口宇部空港から】[萩・石見空港から]

■萩近鉄タクシー(乗合タクシー)

約70~80分(利用前日までに要予約)

【JR山陰本線】

■JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約30分

■JR東萩駅から萩循環まあるバス(東回り)約30分

■JR玉江駅から徒歩約20分

【自動車】

■「中国自動車道」美祿東JCT経由、

「小郡萩道路」絵堂ICから約20分

■「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



最新情報は公式SNSで

